

技術・家庭科(技術分野2年生) 学習案内

◎中学校の技術・家庭(技術分野)では…

実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技能を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力を育てる。

(指導要領より引用)

◎そして中学2年生の技術・家庭(技術分野)では主に次のような学習を行なう予定です。

<1>エネルギー変換の技術

- (1) エネルギーの変換を利用した製作品のエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みについて
- (2) エネルギーの変換を利用した製作品(防災ライト)の設計・製作について
 - ・エネルギーの変換方法のしくみを知る
 - ・製作品の組み立て・調整や、電気回路の配線・点検ができる
 - ・エネルギー資源の有効利用について考え、行動できる
 - ・エネルギー変換を利用した製作品(防災ライト)の製作レポートの作成。

<2>情報に関する技術

- (1) 生活のさまざまな場面で使われているコンピュータの利用形態を知り、応用ソフトウェアを利用した情報の収集や処理の方法を通して、情報を適切に処理することができる。
- (2) 情報の伝達方法の特徴と利用方法を知り、情報を収集・判断・処理し、発信ができる

評価の観点

この3つの観点を評価していきます



主体的に学習に取り組む態度

→自らの学習を調整しながら学ぼうとしているか

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりする粘り強さと自らの学習を調整しようとしているか。

・技術を工夫し創造しようとする態度 ・粘り強い取り組み



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

基本的な技術やその技術に関する科学的な原理・法則とともに技術と生活や社会、環境との関りを理解しているか。

- ・仕組みの理解
- ・技能の習得
- ・生活等の場面でも活用できる技術の概念の理解

思考力・判断力・表現

→理解していること・できることをどう使っているか

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な力が身についているか。

・技術を用いて生活や社会における問題を解決するための力

★評価の方法

技術・家庭(技術分野)では3つの観点を、主に次のような方法で見していきます。

1 授業中の活動の評価

◇実践的・体験的な活動を積極的に行っているか。興味・関心をもって意欲的に学習に取り組んでいるかを評価していきます。

・態度や発言内容等から ・自己評価や相互評価等から ・作業への取りかかり・片づけ・清掃の姿勢から

◇製作した作品から、製作に係る技能や創意工夫を評価していきます。

2 学習の成果物および提出物

◇毎時間の授業で記録した「学習の記録」用紙から、その時間ごとの学習状況や関心・意欲を確認していきます。

◇レポートやノート等を提出してもらい、学習の成果と個人の考えを確認していきます。

3 各種テストによる評価

◇定期テスト等の結果から、学習の到達状況を評価していきます。